

話すことが

ケアになる

～オープンダイアログを 体験してみよう～



講師

「つくばダイアログハウス」院長
斎藤 環 さん

会場参加とZOOM参加を選べます

参加お申込



精神疾患・ひきこもり・障害のある方のご家族、支援の方、どなたでも参加できます。

開催日時：2026年11月8日(日) 14:00～16:30(受付13:30～)

場所：おだわら市民交流センターUMECO会議室1～2

参加費：990円 会場参加はお申込み先着48名。

UMECOアクセス ▶▶



斎藤 環 さんのプロフィール

1961年、岩手県生まれ。1990年、筑波大学医学専門学群 環境生態学 卒業。医学博士。
爽風会佐々木病院精神科診療部長(1987年より勤務)を経て、2013年より2024年まで筑波大学医学医療系社会精神保健学教授。
2024年から「つくばダイアログハウス」院長。筑波大学名誉教授。日本思春期学会理事、日本病跡学会理事。
2021年より公益社団法人青少年健康センター会長。専門は思春期・青年期の精神病理、精神療法、および病跡学。
「文脈病」(青土社)「社会的ひきこもり」(PHP研究所)「ひきこもり文化論」(紀伊國屋書店)「生き延びるためのラカン」(ちくま文庫)
「ひきこもりはなぜ「治る」のか?」(中央法規出版)「世界が土曜の夜の夢なら」(角川書店)「ひきこもりのライフプラン」(畠中雅子との共著)
岩波書店「オープンダイアログとは何か」(医学書院)「イルカと否定神学」(医学書院)など。
『関係の化学としての文学』(新潮社)で、2010年度の日本病跡学会賞を受賞。
『世界が土曜の夜の夢なら ヤンキーと精神分析』(角川書店)で2013年に第11回角川財団学芸賞を受賞。
『心を病んだらいけないの? うつ病社会の処方箋』(新潮選書)で2020年に第19回小林秀雄賞を受賞。

主催者

「親なきあと」相談室小田原

〒250-0011 神奈川県小田原市栄町2-12-4ハピネス杉山305

Tel: 0465-46-6800 mail: tsuyoshiko_2017.m@outlook.jp

ホーム
ページ



神奈川県、小田原市、小田原市教育委員会、小田原市社会福祉協議会 後援